



# HARIMA

## CHEMICALS GROUP

COMPANY GUIDE

ハリマ化成グループ株式会社  
[www.harima.co.jp](http://www.harima.co.jp)



# 松の化学で、こたえていく

ハリマ化成グループは、松から得られるロジン(松やに)、脂肪酸、テレピン油などを使って化学素材をつくる化学メーカーです。

私たちの製品は、印刷インキ用樹脂や、塗料用樹脂、粘接着剤用樹脂、合成ゴム用乳化剤、製紙用薬品、電子機器に使われる接合材(はんだ)などとして幅広い分野で使用されています。それらは、新聞、書籍、カタログ、包装紙などの印刷物や、建造物、自動車などに使われる塗料、接着剤、包装用テープなどの粘接着剤、自動車タイヤなどの合成ゴム、また、板紙や段ボールをはじめとする紙、コンピュータや携帯電話といった電子機器など、生活に欠かせない製品に姿を変え、人々の暮らしに役立っています。

そして今、私たちは世界11か国に製造拠点を有し事業を展開。お客さまのニーズに、グローバルにこたえています。



ロジン(精製された松やに)

## ロジン

### 松が育む、 尽きることのない資源

ロジンは松科の植物に含まれる松やにを精製して得られる成分です。身近な利用例としては、松やにのネバネバした性質を利用した野球などで使われるロジンバッグや弦楽器の弓に塗るロジンがあります。旧約聖書のノアの方舟の話にも登場するように、松やには紀元前より水漏れ防止剤に使われ、古代ギリシャでは照明や宗教的儀式に用いられるなど、人々の生活にさまざまな形で利用されてきました。現代においても化学工業原料として、樹脂・化成品や製紙用薬品、電子材料など、暮らしの身近な分野で広く活用されています。



# パインケミカルとともに

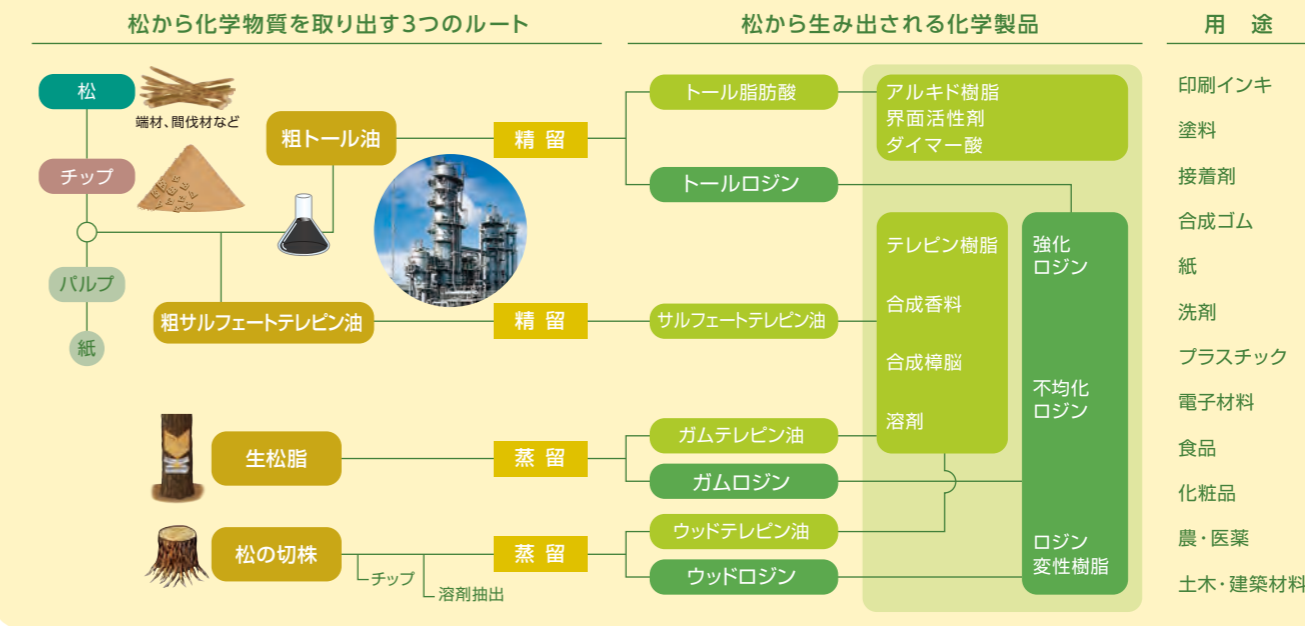
私たちの事業は、「パインケミカル事業」からスタートしました。

パインケミカルとは、松（パイン）から得られるロジン、脂肪酸、テレピン油などの有用な化学物質を扱う「松の化学」のことです。

私たちは自然の恵みである「松」を良きパートナーと考え、

自然とテクノロジーの調和を大切にしながら、「松」から得られる化学物質を最大限に活用したいと考えています。

## パインケミカル製品と用途



## 松は植林することで再生可能な尽きるここのない資源

枯渇するおそれがある石油や石炭のような化石資源とはちがひ、松は植林により20～30年のサイクルで再生可能(リニューアブル)な資源です。私たちは、自然が育む松から得られる化学物質を生活に役立つ製品として活かすパインケミカルを起点に、樹脂・化成品をはじめ、製紙用薬品や電子材料などでさまざまな製品を開発しています。

## ロジンの種類

ロジンは、採取方法により3種類に分類されます。松の幹から直接採れる生松脂(なまつやに)を蒸留して得られるガムロジン。松材からパルプを製造するときに副生する粗トルール油<sup>※</sup>を精留することで得られるトルールロジン。松の切り株をチップ状にしたものから溶剤抽出し、蒸留して得られるウッドロジン。

私たちは、世界で最も多く使われているガムロジンと工業的に得られるトルールロジンを原料としてグローバルに事業展開しているメーカーであり、状況に応じて2種のロジンを効果的に使い分けることで、製品の安定供給を可能にしています。

※トルール油とはスウェーデン語で「松の油」を意味するTallojaに由来



## Pine Chemicals Studio

パインケミカル スタジオ

加古川製造所内にある見学施設「パインケミカルスタジオ」では、パインケミカルの歴史や意義、そして未来について紹介しています。パネル等の展示だけでなく、AR(拡張現実)技術を使用した多数の動画コンテンツをご用意し、より楽しく深くご理解いただける最新の施設になっています。

[パインケミカルスタジオ](#) [検索](#)

# 生まれながらの グリーンケミストリー

グリーンケミストリー（グリーン・サステナブル ケミストリー）とは、生物や環境への負荷低減をめざし、持続可能な社会の実現に貢献する化学技術のこと。ハリマ化成グループは、太陽光と水という自然の恵みを受けて次代へと再生される松由来の物質を原料とするパインケミカルなりわいを生業としており、生まれも育ちもグリーンな企業です。さらに「自然に負荷をかけない生産システム」「自然環境にやさしい製品」を通じて、より“グリーン”に磨きをかけていきます。



## “人と自然、テクノロジーの調和”を大切に、環境保全に配慮しています

私たちは1958年に国内で初めてトール油精留事業に参入し、1973年には人と地球にやさしい世界初の完全クローズドシステムのトール油精留プラントを建設しました。また、2000年に主力工場である加古川製造所で環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得して以来、全工場での省エネルギーの推進、廃棄物の削減、環境配慮商品の開発を進め、環境保全活動に努めています。

## 環境への取り組みもハリマ化成の使命です

私たちの製品の原料となる粗トール油は、植物由来の「バイオマス資源」です。この粗トール油からロジンや脂肪酸を精留する工程で得られる副産物をバイオマス燃料として利用しています。ボイラーによる蒸気製造への利用に加え、2005年3月には、加古川製造所にバイオマス発電設備を設置し、当製造所で必要な蒸気と電力のすべてをまかなうとともに、余剰電力はグリーン電力として電力会社に供給しています。



### トール油ギャラリー

加古川製造所内の「トール油ギャラリー」では、自然の恵みである松の木から得られる化学物質が、身近な暮らしにどのように活かされているか紹介しています。また、トール油精留プラントのクローズドシステム（水蒸気を再利用したり、臭気を含んだ成分を焼却したりすることで、外部の環境に影響を与えることを防ぐ仕組み）についても、わかりやすく解説しています。

## 未来を拓く研究開発、 新たな価値の創造へ

私たちの研究開発は、長期的な視野を持って未来を拓く新しい製品価値の創造に挑む姿勢と、開発戦略に沿って得られた研究成果や技術をスピーディーに市場価値に変えることを大切にしています。刻々と変化する市場のニーズに対応するとともに、未来を見据えた、新たな領域での研究開発を推し進めています。



中央研究所(兵庫県加古川市)



LAWTER エルジン(米国)



筑波研究所(茨城県つくば市)



LAWTER カロ(ベルギー)

### 人材の育成と活性化で 新しいテクノロジーを生み出します

私たちは優れた人材の育成と組織の活性化を図ることで、オリジナリティに富んだ研究風土を育てています。さまざまな研修制度や海外派遣・留学制度によって、国内、海外の諸機関とも積極的に交流を図り、また、優秀な研究への表彰制度を設けるなどして、研究開発への意欲を高めています。さらに、異業種や産官学との交流を深め、新技術創造のための優れた研究者の育成にも力を注いでいます。

### 未来を見据えた 研究開発に注力しています

私たちは先進技術に積極的に取り組み、省資源、省エネルギー、自然環境との調和を目指した素材を開発しています。私たちの研究成果は、国内外で多くの特許を取得するなど高い評価を得ながら、多彩な製品群となって実を結んでいます。日本国内での研究開発の基幹となる中央研究所、筑波研究所では、最新の研究設備や分析機器が充実しており、5年先、10年先を見据えて、現在の基盤事業の領域にとらわれない研究開発を行っています。また、2011年に当社グループに加わったローター社の米国、ベルギー、オランダおよび中国をはじめとする世界各地の研究所とも連携し、刻々と変化する世界市場とニーズを的確に捉えたグローバルな研究開発に力を注いでいます。私たち独自の技術力とたゆまぬ探究心、情熱は、人々の暮らしを豊かにする原動力となっています。

## 樹脂・化成品事業

## くらしの中の「美しい」と「安心」に貢献

樹脂・化成品事業では、印刷インキや塗料、接着剤、合成ゴムなどに求められるさまざまな機能と性能を実現するために、豊富な技術と経験を活かした各種製品を取り揃えています。主力製品である印刷インキ用樹脂、粘接着剤用樹脂、合成ゴム用乳化剤は、2011年にローター社がハリマ化成グループに加わったことで、よりグローバルな供給体制が整いました。これらの製品が使用されている分野でのリーディングカンパニーとして、世界中の人々のくらしに「美しい」と「安心」を提供しています。

〔事業・製品〕 くらしのあらゆるところに、私たちの技術が活かされています

印刷インキ用樹脂 | 塗料用樹脂 | 粘接着剤用樹脂 | 合成ゴム用乳化剤

## 印刷インキ用樹脂

**新**聞や雑誌、チラシ、ポスターなどに情報や色彩を表現するために使用される印刷インキは、色を表現するための青、赤、黄、黒などの顔料と、それら顔料を均質に分散させ、かつ紙などの媒体に顔料をしっかりと接着させるための合成樹脂、そして、インキの流動性をコントロールするための溶剤などからつくられています。ロジンは、顔料を均一に分散させる機能に優れており、私たちはこのロジンと接着性に優れたフェノール樹脂を独自の合成技術で組み合わせた「ロジン変性フェノール樹脂」の製品開発を行っています。私たちが提供するこの合成樹脂は全世界のインキメーカーに供給されており、印刷インキ用樹脂では世界トップシェアを誇っています。創業以来培ってきたロジン変性技術を活用することで、これまで以上に、環境にやさしく安全で、印刷物を美しく仕上げ、なおかつ印刷のスピードアップとローコスト化を実現する、よりクオリティの高い印刷インキ用樹脂の開発に努めています。



## 塗料用樹脂

**塗**料は自動車や工業製品、住宅をはじめとする建造物から日用品に至るまで、さまざまなものをさびや劣化から保護し、美観を整えるために使われています。塗料は、色を表現するための顔料と、その顔料を各種被着体に接着させ、かつ塗装された塗料の表面を保護するための合成樹脂、および塗料の粘性をコントロールするための溶剤からつくられています。私たちは金属、プラスチック、コンクリートなどに直接塗装する下塗り塗料、塗り重ねが必要な中塗り塗料、耐候性と美観が重要な上塗り塗料まで、それぞれの塗料に最適な塗料用樹脂をカスタマイズし、ニーズに応じた製品を提案しています。近年では、塗装環境の改善を目的にVOC（揮発性有機化合物）を低減させたハイソリッド型塗料用樹脂やVOCを含まない水系塗料用樹脂などの開発も積極的に行われています。



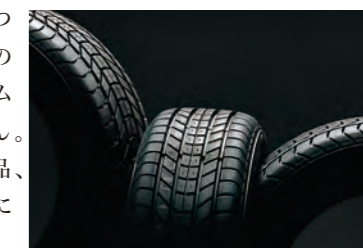
## 粘接着剤用樹脂

**ロ**ジンは、手で触れるとネバネバしていることがわかります。接着剤や粘着テープの接着力を高めるためにロジン誘導体を添加するという使用方法があります。添加するロジン誘導体の種類やその添加量により、接着剤や粘着剤にさまざまな特性を付与することが可能になります。このように使用されるロジン誘導体は、タックファイヤー（粘着付与剤樹脂）と呼ばれ、私たちは、多種多様のロジン系タックファイヤーを取り揃え、世界中のユーザーの要望に応じています。



## 合成ゴム用乳化剤

**合**成ゴムの製造法に乳化重合法があります。乳化とは水に溶けない物質を水中に分散させる方法で、ロジンは乳化に適した化学構造を持っており乳化剤として利用されています。自動車タイヤには、主にSBR（スチレン・ブタジエンゴム）という合成ゴムが使用されており、ロジン系合成ゴム用乳化剤がタイヤの高性能化に貢献しています。燃えにくいなど天然ゴムや他の合成ゴムに無い特徴を持つCR（クロロプレンゴム）の製造にもロジン系合成ゴム用乳化剤は欠かせません。電線ケーブル、自動車部品、伝動ベルト、接着剤などに用いられています。



## ローター (LAWTER) 社について

速乾性印刷インキの開発者であるDaniel J.Terraは、自身の名前と資金援助した友人J. Lawsonの名前 (LawsonとTerra) から、社名をLawter Chemicalsとして1940年にシカゴで創業しました。その後、同社はLawter Internationalとして米国やヨーロッパを中心に事業展開を進め、印刷インキ用樹脂の業界で世界のブランドとしての地位を確立するまでとなりました。1999年イーストマンケミカル社に、さらに2004年にはモメンティブ社 (旧ヘキシオン社) に買収され、ローターの名前は社名から消えていましたが、2011年1月、ハリマ化成グループがこの事業を買収したことにより、名門ブランドのローターを復活させ、ローター (LAWTER) 社としてグローバルに展開しています。

## 製紙用薬品事業

なくてはならない「紙」の品質向上に貢献

普段、何気なく使っている紙には、私たちの製品が広く使用されています。製紙用薬品事業では、水性インクのにじみを防止するサイズ剤や、紙の強度を高める紙力増強剤、紙の表面を改質する塗工剤などの薬品を提供するとともに、新たな薬品の開発にも力を入れています。例えば、紙のリサイクルの際に発生する廃棄物を減らし、リサイクル率を高める薬品の開発などにも積極的に取り組んでいます。



〔事業・製品〕 暮らしのあらゆるところに、私たちの技術が活かされています

サイズ剤 | 紙力増強剤 | 塗工剤・特殊薬品

### サイズ剤

サイズ剤とは、紙の吸水性を制御して水性インクのにじみを防止する薬品のことで、その効果により、紙に高い筆記性や印刷性を付与することができます。ロジンには、高い撥水性があり、それだけでサイズ剤としての効果が期待されますが、私たちは、独自の技術でロジンに各種加工を施し、紙の多種多様な製造条件に合わせた最適なサイズ剤を提供しています。ロジン系サイズ剤は、一般的に内添サイズ剤と呼ばれており、抄紙工程でパルプと水との混合物に添加されて使用されます。私たちは、この内添ロジン系サイズ剤に加え、抄紙後の紙の表面に塗布して使用される表面サイズ剤の開発、製造販売も行っています。



水性インクのにじみ比較



鮮

サイズ剤未使用



鮮

サイズ剤使用

### 紙力増強剤

ボールの素材となる板紙や新聞紙などには古紙が積極的に利用されていますが、古紙の含有率が高くなることで紙の強度は低下してきます。このようなリサイクル率の高い板紙や紙に、強度を持たせる役割を果たすのが紙力増強剤です。紙力増強剤は、水溶性ポリマーが主成分ですが、私たちが長年培ってきた水系重合技術は、高機能な紙力増強剤の開発に応用され、板紙や新聞紙の強度向上に役立っています。紙力増強剤もサイズ剤と同様に、抄紙工程で使用される内添紙力増強剤と抄紙後の紙の表面に塗布して使用される表面紙力増強剤があります。私たちは、それぞれの使用方法に合わせたさまざまな薬品を取り揃えて、板紙や新聞紙などの品質向上の一翼を担っています。



### 塗工剤・特殊薬品

塗工剤は、出来上がった紙の表面に塗る薬品で、防滑性や撥水性、耐水性を付与する薬剤や、インクジェット印刷時の印字濃度を向上させる薬剤など、さまざまな用途に向けてラインナップしています。また、古紙を溶かして再生紙の材料を作る段階で添加することにより廃棄物の量を抑制する歩留り向上剤など、古紙のリサイクルに貢献する薬品も揃えています。

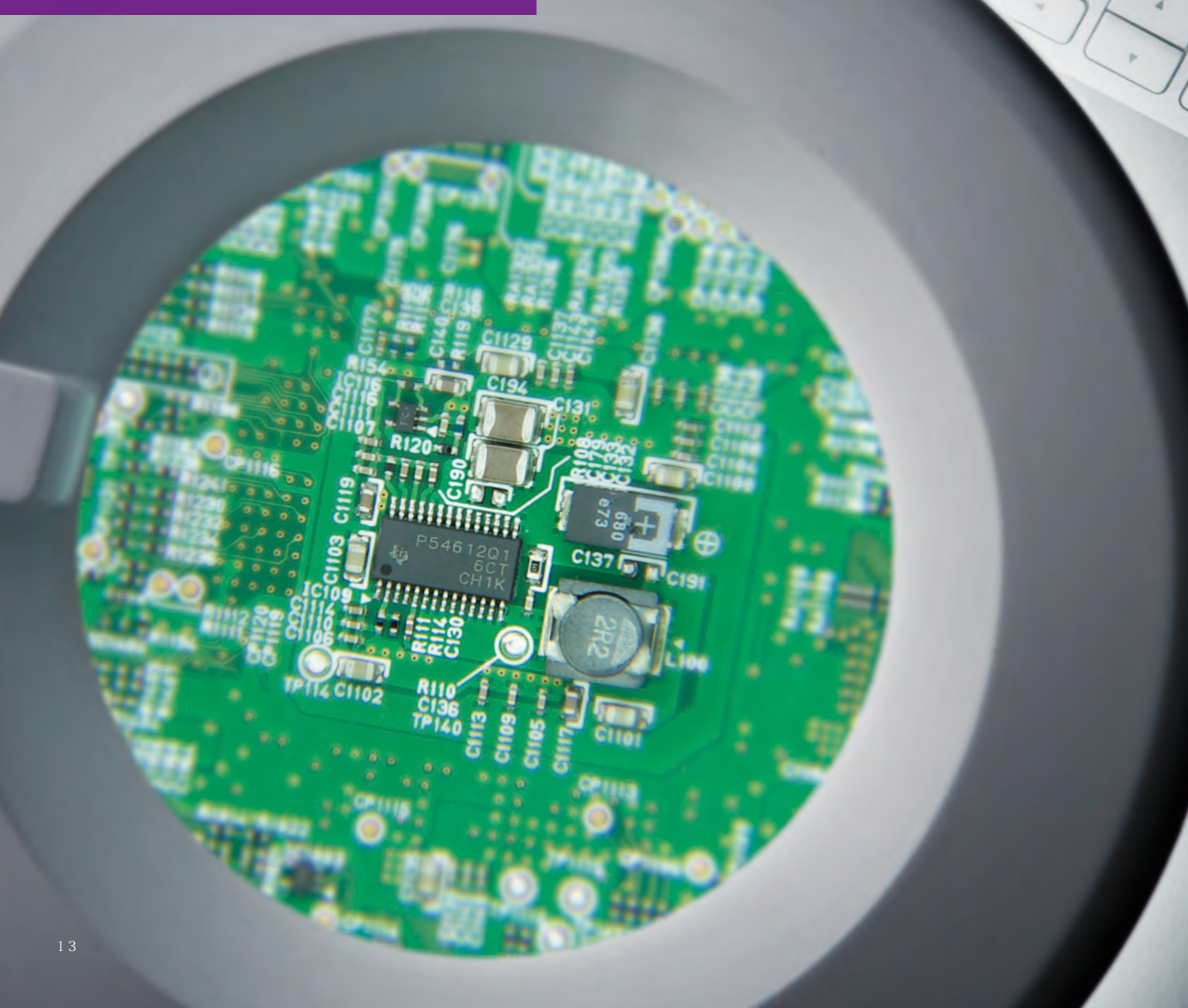


# 電子材料事業

## 電子機器の「進化」と「安全」に貢献

電子材料事業では、小型化・高性能化が進む電子機器において、基板と部品の接合に使われるはんだや、電子回路の形成工程に使用される導電性ペーストなどの開発、製造販売をおこなっています。

私たちは『クリーン(環境)&ファイン(小型・高性能化)』をコンセプトに、お客様への価値提案を実践しています。電子機器の小型化のための微細はんだ接合技術を低コストで実現する工法や、私たちが開発した複数の機能を兼ね備えた材料によって電子機器の製造工程を短縮するなど、先進技術を駆使して画期的な製品を提案しています。



〔事業・製品〕 暮らしのあらゆるところに、私たちの技術が活かされています

ソルダペースト | 導電性ペースト | アルミニウムろう付け材料

### ソルダペースト

**携** 帯電話やパソコンなどの電子機器の製造工程で、基板と電子部品を接合するための材料として使用されているのが「はんだ」です。そのはんだの一種であり、微細な金属粉とさまざまな材料を練り合わせたクリーム状のはんだが「ソルダペースト」です。私たちは、ロジンを持つ性質のひとつである金属氧化物に対する還元作用を応用し、金属粉とロジン誘導体を組み合わせたソルダペーストを開発しています。また、環境への配慮も重要な使命であると認識し、酸性雨の影響によって廃電子機器から鉛が流出することを防止するために、鉛を使用しない「鉛フリーソルダペースト」の開発にも早くから着手しました。私たちが開発した鉛フリーソルダペーストは、1998年に世界で初めて鉛フリー化を実現したMDプレーヤーに採用されて以来、数多くの実績を積み重ねてきました。

### 導電性ペースト

**導** 電性ペーストは、電気が流せる便利な接着剤のことです。私たちの導電性ペーストには、塗料・接着の分野で培われた豊富な経験が詰め込まれています。熱を伝えやすい性質をもち、さまざまな印刷方式にも対応できることから、電子機器の部品の高密度化を可能にします。その高い信頼性により、太陽電池の配線やスマートフォンの部品接合など、次代を担う電子機器の生産には欠かせない材料となっています。また、10億分の1メートル単位というナノサイズの金属粒子を安定分散させたインク状の導電性ペースト「ナノペースト」は、塗布して加熱するだけで高信頼性の金属薄膜を形成できるため、接合材料、配線材料として幅広い利用が可能です。インクジェットを含むさまざまな印刷方式が使えることから、印刷による新しいモノづくり技術「プリントドエレクトロニクス」の基幹材料としても期待されています。

**フレキシブル回路プリント**

**銀ナノペースト**

インクジェット印刷による微細配線

ナノサイズの金属超微粒子を使ったナノペーストのインクジェット印刷では、オンデマンドで回路を形成できます。120℃の低温で焼結が可能なナノペーストは汎用のフレキシブル素材であるPETフィルムにも適用でき、プリントドエレクトロニクスを加速する新しい電子材料として注目されています。表面活性が高く、容易に凝集。

（一般的なナノ粒子）

**スーパーソルダーによる微細接合**

シリコンチップ  
はんだコート部  
基板  
はんだ接合

微細パターンへのスーパーソルダーはんだコート例(150マイクロメートルピッチ)

150μm



〈スーパーソルダー〉  
細かな部品の接合に優れた私たちのソルダペースト「スーパーソルダー」。微細接合部にスーパーソルダーを供給する当社の独自技術（はんだプリコート技術）は、今後ますます小型化する電子部品のはんだ接合に欠かせない技術として注目されています。

### アルミニウムろう付け材料

**ア** ルミニウムの接合技術である「ろう付け」にも、私たちの技術は応用されています。「アルミニウムろう付け材料」は、各種アルミニウム製品の製造工程に使用され、品質の向上と低コストのモノづくりに貢献しています。例えば、自動車エンジンの冷却や車内の空調に不可欠な熱交換器は、軽量化を図るためにアルミニウムが使用されており、さまざまな形状のアルミニウム部品同士をろう付けで接合することにより製造されています。従来は、ろう付けに必要な材料を熱交換器の全面に吹き付けてから加熱することにより製造していましたが、私たちが開発した特殊な塗料状の「アルミニウムろう付け材料」は、ろう付けに必要なところだけに最小限の材料を供給することを可能にし、大幅なコストダウンと品質向上を実現しました。

**熱交換器**

接合(ろう付け)



# グローバルなニーズにこたえる、ハリマ化成グループのネットワーク

The map displays the following regions and their respective facilities:

- Europe:** Czech Rep. (Harimatec Czech, s.r.o.), Belgium (LAWTER カロ), The Netherlands (LAWTER マーストリヒト).
- Asia:** China (Harima Chemicals Management (Shanghai) Co., Ltd., LAWTER 上海), Malaysia (Harimatec Malaysia Sdn. Bhd.), Korea (LAWTER クンサン), Japan (東京本社/営業所, 大阪本社/営業所, 加古川製造所/中央研究所, 筑波研究所, 北海道工場/営業所).
- North America:** U.S.A. (Harima USA, Inc./Harimatec Inc., LAWTER グローバル本社, LAWTER エルジン, LAWTER バクスレー, Plasmine Technology, Inc. 本社, Plasmine Technology, Inc. ベイミネット工場).
- South America:** Brazil (Harima do Brasil Indústria Química Ltda. 本社/パラナ工場, Harima do Brasil Indústria Química Ltda. サンパウロ事務所), Argentina (LAWTER フェノスアイレス), Chile (LAWTER コンコルディア).
- Oceania:** New Zealand (LAWTER Mt. マウンガヌイ).

## 海外関係会社

- ヨーロッパ**  
(チェコ)  
Harimatec Czech, s.r.o.  
本社/工場  
■電子材料
- (ベルギー)  
LAWTER カロ  
研究所/工場  
■樹脂・化成品
- (オランダ)  
LAWTER マーストリヒト  
研究所/工場  
■樹脂・化成品
- アジア**  
(中国)  
ハリマ化成管理(上海)有限公司  
Harima Chemicals (Shanghai) Co., Ltd.  
本社  
中国グループ会社に対する資金、財務、経営等の管理・支援

- 杭州ハリマ電材技術有限公司  
Harimatec Hangzhou Co., Ltd.  
本社/工場  
■電子材料
- 杭州杭化ハリマ化工有限公司  
Hangzhou Hanghua Harima Chemicals Co., Ltd.  
本社/工場  
■製紙用薬品
- 東莞市杭化ハリマ造紙化学製品有限公司  
Dongguan Hanghua Harima Paper Chemicals Co., Ltd.  
本社/工場  
■製紙用薬品
- 山東杭化ハリマ化工有限公司  
Shandong Hanghua Harima Chemicals Co., Ltd.  
本社/工場  
■製紙用薬品
- LAWTER 上海  
アジア統括/営業所  
LAWTERアジアの統括、各種製品の販売
- LAWTER 南平  
工場  
■樹脂・化成品

- LAWTER 封開  
工場  
■樹脂・化成品
- LAWTER 南寧  
工場  
■樹脂・化成品
- (韓国)  
LAWTER クンサン  
工場  
■樹脂・化成品
- (マレーシア)  
Harimatec Malaysia Sdn. Bhd.  
本社/工場  
■電子材料
- (台湾)  
日商ハリマ化成股份有限公司  
Harima Chemicals, Inc. Taipei Office  
連絡事務所
- (インド)  
LAWTER インド  
連絡事務所

- オセアニア**  
(ニュージーランド)  
LAWTER Mt.マウンガヌイ  
工場  
■樹脂・化成品
- 北米**  
(米国)  
Harima USA, Inc.  
本社  
ブラズミン社とハリマテック社の米国持株会社
- Harimatec Inc.  
本社/工場  
■電子材料
- Plasmine Technology, Inc.  
本社/ベイミネット工場  
■製紙用薬品
- LAWTER グローバル本社  
ローター全社事業の統括

- LAWTER エルジン  
研究所
- LAWTER バクスレー  
工場  
■樹脂・化成品
- 南米**  
(ブラジル)  
Harima do Brasil Indústria Química Ltda.  
本社/パラナ工場/サンパウロ事務所  
■樹脂・化成品
- (アルゼンチン)  
LAWTER コンコルディア  
研究所/工場  
■樹脂・化成品
- LAWTER フェノスアイレス  
南米統括/営業所  
LAWTER南米の統括、各種製品の販売

(■●■ 取扱商品、事業内容)

## 国内関係会社

- ハリマ化成株式会社  
東京本社/営業所  
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-4  
本社 TEL 03-5205-3080 FAX 03-3241-3035  
営業所 TEL 03-5205-3033 FAX 03-5205-3049
- 大阪本社/営業所  
〒541-0042 大阪府中央区今橋4-4-7  
本社 TEL 06-6201-2461 FAX 06-6227-1030  
営業所 TEL 06-6201-2464 FAX 06-6201-0391
- 加古川製造所/中央研究所  
■樹脂・化成品 ■製紙用薬品 ■電子材料  
〒675-0019 兵庫県加古川市野口町水足671-4  
TEL 079-422-3301 FAX 079-426-6008
- 中央研究所  
TEL 079-422-3301 FAX 079-426-2650
- 筑波研究所  
■電子材料  
〒300-2635 茨城県つくば市東光台5-9-3  
TEL 029-847-5080 FAX 029-847-5081
- 北海道工場/営業所  
■製紙用薬品  
〒059-0921 北海道白老郡白老町石山27-5  
TEL 0144-83-2205 FAX 0144-83-5170

- 仙台工場/営業所  
■製紙用薬品  
〒989-2426 宮城県岩沼市末広1-2-1  
TEL 0223-22-1201 FAX 0223-24-2790
- 茨城工場  
■樹脂・化成品  
〒300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里13-1  
TEL 048-931-4311 FAX 048-935-0664
- 東京工場  
■樹脂・化成品  
〒340-0003 埼玉県草加市稲荷6-18-1  
TEL 048-931-4311 FAX 048-935-0664
- 富士工場/営業所  
■製紙用薬品 ■樹脂・化成品  
〒417-0847 静岡県富士市比奈311-9  
TEL 0545-38-2254 FAX 0545-38-2151
- 四国工場  
■製紙用薬品  
〒799-0401 愛媛県四国中央市村松町365-1  
TEL 0896-24-1001 FAX 0896-24-1003

- ハリマエムアイディ株式会社  
■樹脂・化成品  
本社  
〒541-0042 大阪府中央区今橋4-4-7  
TEL 06-6201-2461 FAX 06-6227-1030
- 加古川工場  
〒675-0019 兵庫県加古川市野口町水足671-4  
TEL 079-424-2312 FAX 079-424-2118
- ハリマ化成商事株式会社  
倉庫業、ホテル・ゴルフ場の経営、不動産管理業  
本社  
〒541-0042 大阪府中央区今橋4-4-7  
TEL 06-6201-2461 FAX 06-6227-1030
- 加古川営業所  
〒675-0019 兵庫県加古川市野口町水足827-6  
TEL 079-425-0300 FAX 079-425-0100
- ホテル作州武蔵/作州武蔵カントリー倶楽部  
〒707-0124 岡山県美作市大町878
- ホテル作州武蔵  
TEL 0868-77-1380 FAX 0868-77-0939
- 作州武蔵カントリー倶楽部  
TEL 0868-77-0153 FAX 0868-77-1381

- 株式会社日本フィラーメタルズ  
■電子材料  
本社/関宿工場  
〒270-0203 千葉県野田市関宿元町487  
TEL 082-848-9111 FAX 082-848-2218
- 株式会社セブンリバー  
業務用洗剤および洗浄機器の製造・販売  
本社/工場  
〒731-3169 広島市安佐南区伴西3-5-1  
TEL 082-848-9111 FAX 082-848-2218
- 東京支店  
〒340-0003 埼玉県草加市稲荷6-17-8  
TEL 048-931-6468 FAX 048-935-1830

(■●■ 取扱商品、事業内容)

■ 会社概要

社 名 ハリマ化成グループ株式会社  
 創 立 1947年11月18日  
 代 表 者 代表取締役社長 長谷川 吉弘  
 東 京 本 社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8-4 TEL.03-5205-3080  
 大 阪 本 社 〒541-0042 大阪市中央区今橋4丁目4-7 TEL.06-6201-2461  
 資 本 金 100億円  
 上 場 東京証券取引所(証券コード4410)  
 従 業 員 数 (連結)約1,500名  
 主な事業内容 松から得られるロジン(松やに)、脂肪酸、テレピン油などを使って化学素材を生産・販売

■ 沿革

2018年 11月 SunPine ABの株式追加取得  
 2016年 6月 サンパイン社(スウェーデン)のトールロジン生産設備が本格稼働、年間2万トンのトールロジン生産体制へ  
 2015年 12月 ローター社(LAWTER)が出資したサンパイン社のトールロジン生産設備の試運転開始  
 2014年 12月 高砂伊保太陽光発電所が竣工(兵庫県高砂市)  
 11月 加古川製造所にナノ粒子工場完成  
 6月 ローター社(LAWTER)がスウェーデンにおけるトールロジン生産事業へ出資  
 2012年 10月 ハリマ化成グループ株式会社(持株会社)に社名変更し、新たに設立したハリマ化成株式会社が事業を継承  
 6月 中国上海市にハリマ化成管理(上海)有限公司を設立し業務開始  
 2011年 4月 ローター社(LAWTER)、米国シカゴに本社設立  
 2月 東莞市杭化ハリマ造紙化学品有限公司 操業  
 1月 米国化学会社モメンティブ社のロジン関連事業を取得(ローター社として運営)  
 2009年 12月 信宜日紅樹脂化工有限公司の子会社化  
 10月 株式会社日本フィラーメタルズの子会社化  
 2007年 2月 Harimatec Czech, s.r.o.設立(チェコ)  
 2005年 7月 南寧ハリマ化工有限公司(現 LAWTER 南寧)設立(中国)  
 3月 トール油精留後の副産物を燃料としたバイオマス発電設備(出力4000kw)稼働(加古川製造所)  
 2003年 12月 Harimatec Malaysia Sdn.Bhd.設立(マレーシア)  
 9月 Harimatec Inc.設立(米国)  
 2月 杭州播磨電材技術有限公司(現 杭州ハリマ電材技術有限公司)設立(中国)  
 2002年 8月 加古川製造所に電子材料製造設備完成  
 2000年 6月 ISO14001取得(加古川製造所)  
 1999年 6月 ISO9001全社取得  
 1997年 10月 杭州杭化播磨造紙化学品有限公司(現 杭州杭化ハリマ化工有限公司)設立(中国)  
 1996年 4月 プラズミン・テクノロジー社に100%出資、完全子会社化  
 1990年 9月 東京証券取引所、大阪証券取引所市場第一部へ指定替え  
 4月 ハリマ化成株式会社に社名変更  
 1989年 3月 東京証券取引所市場第二部へ上場  
 1985年 11月 大阪証券取引所市場第二部へ上場  
 1983年 3月 松籟(しょうらい)科学技術振興財団設立  
 1980年 2月 Harima USA, Inc.設立(米国)  
 1974年 8月 Harima do Brasil Indústria Química Ltda設立(ブラジル)  
 1973年 8月 世界初の完全クローズドシステムのトール油精留プラント完成  
 1972年 1月 播磨エムアイディ株式会社(現 ハリマエムアイディ株式会社)設立  
 1958年 10月 国内初のトール油精留プラント完成  
 1947年 11月 播磨化成工業株式会社として創業(現 兵庫県加古川市)



■ 持株会社グループ体制



自然と人が奏でる美しく豊かな未来へ  
 それが、私たちハリマ化成の願いです

ハリマ化成グループは植物資源「松」から得られる化学物質を、人々の生活や産業に役立つ製品にしてお届けしてまいりました。1947年の創業以来、常に新たな研究開発に挑み、独自のテクノロジーを活かした製品づくりを続けることで、パインケミカル業界のリーディングカンパニーとして高い評価をいただいています。そして、地球をひとつのフィールドと考えてグローバルネットワークを強化し、将来を見据えた幅広い事業展開を推し進めています。また、科学技術の発展を願って設立した松籟科学技術振興財団の活動を通して、科学技術の振興にも協力させていただいています。

「自然の恵みをくらしに活かす」これが私たちの基本理念です。

それは、「人と自然、そしてテクノロジーの調和」を願うものであり、豊かな社会の創造を追求するものです。

私たちはこの基本理念のもとで、グループ全体の能力を結集させ、

パインケミカル事業を通して、これからも人々のくらしに貢献してまいります。

代表取締役社長 長谷川 吉弘



公益財団法人 松籟科学技術振興財団

ハリマ化成グループは、創業者である長谷川末吉が1982年に科学技術庁(現 文部科学省)から『科学技術功労者賞』を受賞した栄誉を機に、科学技術の振興と世界文化の発展を願って、1983年3月、財団法人松籟科学技術振興財団を設立しました。以来、科学技術に関する調査・研究・国際交流を対象に総額6億円を超える研究助成金を贈呈しています。

松籟(しょうらい)=松の梢に吹く風。また、その音。

当財団が研究助成金を贈呈した研究者の中から  
 お二人がノーベル賞を受賞されています

- ◇野依良治氏 第4回(1986年度)助成金贈呈 2001年ノーベル化学賞受賞
- ◇鈴木 章氏 第9回(1991年度)助成金贈呈 2010年ノーベル化学賞受賞